

令和6年度 第2回都市緑化専門部会 会議概要

■日時

令和6年10月30日（水）14時00分～16時00分

■場所

東雲会館2階4号室

■出席者

委員出席者：外崎委員（部会長）、竹田委員、津田委員、井溪委員、古幡委員、山根委員、佐々木委員、渡辺委員（計8名）

委員欠席者：なし

事務局：都市整備課長ほか3名

市：都市整備課公園管理係長

■会議結果

1 開会

2 都市整備課長挨拶

3 議事

- (1) 千歳市の緑に関わる現況について
- (2) 千歳市の緑の課題について
- (3) 緑の基本計画「基本理念」について
- (4) 緑の基本計画「基本方針」について
- (5) 今後のスケジュールについて

・上記(1)～(5)について、会議資料に基づき事務局から説明を行い、内容について検討を行った結果、事務局案のとおり進めていくことが決定された。

・資料中の文言については、今後も必要に応じ修正していくこととなった。

4 閉会

■会議における意見及び質疑応答等

1 議事『(1) 千歳市の緑に関わる現況について』

【委員 A】

公園緑地維持管理経費が増えている理由は何か。また、この先も増えていくのか。

【事務局】

公園の整備や維持管理、人件費などが主な増額理由であり、今後も現状の予算は維持していきたいと考えている。

2 議事『(2) 千歳市の緑の課題について』

【事務局】

都市緑化に係る課題、基本理念、基本方針について意見交換を行う。

なお、都市緑化専門部会では、P12~P23の資料右上に表示している緑色のマークが該当する課題となる。

課題1「緑の保全と継承に関する課題」について

【委員 B】

支笏湖周辺は国有林であるため、記載内容以上はないと考える。引き続き破壊されないよう保全していければよいと思う。

【部会長】

民有林も国有林も間伐や主伐を数十年サイクルで計画的に行っている。支笏湖は国立公園のため、環境省の管轄となるが、予算ありきで事業を行っていることから、何か要望したとしてもうまく伝わらないこともあるかと思う。

【事務局】

森林については、自然林をそのままの状態を生かす又は間伐などにより人の手で管理して保全するという考え方があると思うが、どのように考えるか。

【部会長】

人工林と天然林があり、人工林は間引きや枝打ちなど人の手で管理をしないと木が成長しない。ゾーニングと言い、水源涵養、レクリエーション、木材生産など、場所によって用途が変わってくるため、区域をうまく分けながら管理するのが良いのではないかと考える。

課題2「持続可能な緑の整備と維持管理に関する課題」について

【委員 C】

古い木は植え替えが必要。老木は管理が必要であるが、現状の指定管理では、老木の管理までは含まれていない。公園更新の際も、木は落ち葉や虫の発生など、苦情のタネになることが多いことから、植樹は行っていない。

【事務局】

木の管理についてもメリハリが必要かと考える。木の寿命は何年くらいか。

【委員 C】

弱った木は見ればわかるが、ひこばえが生えているなど目安となるものはある。

【事務局】

現時点では判断基準がないため、誰かの見解をもって判断することとなることから、木の管理基準についての検討が必要かと考える。

【委員 D】

公園には遊具や木、花などいろいろなものがあるが、整備や修復の優先順位はだれが決めて実施しているのか。公園の整備やリニューアルの情報が欲しい。

【事務局】

公園のリニューアルについては市のホームページに情報を掲載しているが、市民が情報を取りに来てくれないと伝わらないため、情報発信の方法についても課題となる。整備の優先順位については状況に応じて判断しているが、そのあたりの考え方についても整理して、市民の理解を得ながら作業することも必要かと考える。

【委員 D】

小学生が落ち葉拾いをしていて気づいたことだが、苦情の原因となる落ち葉を活用し、子どもたちの教材として使うのもいいと思う。

また、支笏湖へ向かう道は、道路の際からトンネルのように木が茂っており、倒れそうな木がたくさんある。冬は日陰になって凍結しやすいため、道路沿いの大木は安全性を考え、適切な管理をしていただきたい。

【事務局】

道路沿いの樹木は建築限界のルールに従って管理されているが、倒木による安全管理という観点も必要と考えるため、参考にさせていただく。

【委員 E】

定期的に点検しているにも拘わらず、なぜ老朽化した公園施設が多くなっているのか。

【事務局】

公園のリニューアルは進めているものの、遊具を一気に設置した時期があり、更新時期を迎えている遊具が多数あるためである。

【委員 C】

昔は破損や事故がないと交換していなかったことから、今になって補修が集中し、耐用年数を迎えた遊具の更新が追い付いていない。また、公園の更新とともに老木も切っているが、移植や新たな植樹なども考えてはどうか。

【委員 E】

更新が滞ってしまうのであれば、遊具を減らすというのも一つの方法だと思う。

【事務局】

木の植え替えや維持管理の優先順位などについて、方針につなげて整理していきたい。

【委員 B】

緑バンクは何を意味しているのか。

【事務局】

過去に市独自事業として市民の皆さんから寄付をもらって、青葉公園などに植樹を行っていたことから、緑を増やす市の取り組みとして記載させていただいた。

【委員 E】

街路樹の点検はどのように行っているのか。

【委員 C】

街路樹は3年に1回剪定しており、その際に枯損木のチェックも行い、伐採している。

【委員 D】

公園内の樹木について、台帳等で整理しているのか。

【事務局】

公園については、整備時に植樹した樹木については台帳に記載しているが、その後、伐採等を行った場合、台帳の更新は行っていない。その他、指定管理者がパトロールを実施した時に異常があれば、伐採や選定について適宜対応している。

【委員 E】

市民アンケートにおいて、街路樹に関する意見が多かったことから、街路樹の点検と維持管理の予算を取ることができれば、苦情も減るのではないか。

【委員 C】

街路樹に関する予算は道路管理課が所管となることから、都市整備課では把握してないのでは。

【委員 D】

市の職員も担当者も都度変わるため、木を植えた時点での記録は必要だと思う。

【事務局】

リストによる樹木の管理についても検討内容として整理する。

課題3「官民連携による緑の確保と創出に関する課題」について

【事務局】

企業の緑化に対する意識はどうか。

【委員 F】

社内敷地においても、木が成長しすぎて伐採する方向で考えており、木は大きくなりすぎると維持管理が難しいが、巨木をPRしようとしている企業もある。

【委員 A】

最近、企業はボランティア活動に積極的だと感じている。今年は雨で実施できなかったが、千歳川の清掃について、100名ほど参加者が増えた。

また、市内で行っている花ロードについて、植樹柵に花植えを行った企業の看板を設置できれば、企業もPRになり、植樹柵もきれいに維持管理されることから、官民連携の取り組みとしてよいのではないか。

【事務局】

参考にさせていただく。

【委員 B】

カーボンニュートラルやカーボンオフセットの考え方はあるが、ラピダスが屋上緑化を行ったからといって、千歳市の貴重な財産である美々公園の自然が失われてもいいという話にはならないため、市から企業へ指導し、引き続き美々公園の保全を図ってほしい。

【委員 C】

美々公園の今後の展望は。

【事務局】

現時点で具体的な展望はないが、美々公園の自然を守りつつ、どう活用していくかが今後の課題になると考えている。

課題4「市民との関わりと緑化の推進に関する課題」について

【委員 G】

樹木の伐採について、市民の声は大事だが、市には正しい判断をしてもらいたい。

【委員 E】

ボランティア団体は継続性が求められることから、敷居が高いイメージがあるかもしれない。小さなイベントを単発的に行いつつ市民の参加を促す方が、入り口として入りやすいのではないか。

【事務局】

市民アンケートにおいても、機会があれば緑の活動に関わりたいという人が多かったことから、その方たちをどうやって取り込むか、気楽に参加できるような活動を検討したい。

【委員 D】

ボランティア団体は傷害保険への加入が必要となるが、花植えやゴミ拾いなどの単発のボランティアはどうなっているのか。

【事務局】

傷害保険については、主催者の判断になるかと思う。

【委員 E】

現状で、情報発信はどのように行っているのか。

【事務局】

ボランティアの関係については、ホームページで活動報告を行っている。今後、ボランティアの人材を発掘するためには、SNSなどを活用した新たな情報発信についても検討していく必要があると考えている。

【委員 E】

今後、高齢者が増えていくので、紙での情報発信も必要だと思う。

【事務局】

これからの高齢者はスマホが使える人も多いと思うが、必要に応じ、紙ベースでの情報発信も検討していきたい。

【委員 C】

緑化推進について、財団では年間何件くらいの事業を行っているのか。広報も行っているのか。

【委員 B】

園芸教室や青葉公園での巨木をめぐるウォークラリーなど、年間多数行っており、ちらしも予算内で自作して配布している。

【事務局】

財団の広報誌「花水木」にも掲載されているが、今年度は22件の事業を予定しており、年間を通し多くの活動を行っていただいている。これまでイベントに参加された方は活動の内容を理解してくれていると思うが、それ以外の市民を取り込むには、様々な媒体を活用した情報発信が必要と考えている。

課題7「地域の活性化に向けた緑の活用に関する課題」について

【委員 D】

青葉公園や泉沢自然の森はもっとアピールしてほしい。

課題8「美しい街並みの創出に向けた景観の維持・保全に係る課題」について

【委員 G】

東千歳では、緑肥用のひまわり畑に観光客が集まりすぎて、地元の方が苦慮しているため、広報しないようにしているところもある。

課題9「森林や千歳川などにおける緑や生物の保護に係る課題」について

【委員 E】

千歳市では生物多様性に関する手引きなどを作成しているのか。

【事務局】

現時点では作成していない。作成の必要性についての検討も必要かと考える。

【委員 E】

札幌市では、植物や生物の図鑑のようなものを子どもに無料配布したりしているため、千歳市にもぜひ作ってもらいたい。

【事務局】

環境課の管轄となるが、情報共有したいと思う。

課題11「地域や主要な拠点における緑の役割に関する課題」について

【委員 B】

緑を親しむ、触れ合うについては、財団の活動でも取り組んでいるが、学校や保育園などでも花育や緑育という授業を取り入れてもらえると、活動のすそ野が広がると思う。そういった

取り組みを促す内容を緑の基本計画に取り入れてもらいたい。花いっぱいコンクールの花壇部門では、先生たちが一生懸命花壇を手入れしているような現状もあるが、子どもたちが花を抜いてしまっても、また子どもたちで植え直すなど、たとえコンクールに入賞しなくても、子どもたちが花や緑に携わることに意味があると考えている。

【事務局】

花育、緑育の取り組みについて、方針として計画に載せていけるか検討する。

3 議事『(3) 緑の基本計画「基本理念」について』及び『(4) 緑の基本計画「基本方針」について』（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）

質疑応答なし。

4 議事『(5) 今後のスケジュールについて』

【事務局】

スケジュールの変更について説明。今後の日程については、進捗状況によって、日程や内容を変更する可能性がある。

なお、次回の専門部会は、12月23日（月）を予定している。

意見・質疑応答なし。

以上